

# かけがえのない地球を守るために

## FDKグループ環境方針

FDKグループは、企業の事業活動に伴う環境保全への取り組みについて、国や地方の規制の対応のみならず、地球規模の視点で主体的に地球温暖化対策、廃棄物削減、化学物質の管理の徹底など行動しなければならぬと認識しています。今回は、富士通グループの一員として、企業の独自性を生かした環境経営を推進するために「FDKグループ環境方針」を改定しました（2010年5月改定）。

## スローガン

FDKグループは自然を愛します かぎりある地球のために

## 理念

FDKグループは、環境保全への取り組みを経営の重要課題に位置づけ、お客様起点に立ち、お客様がご満足いただける電池製品、電子部品を開発・供給して、環境保全・省エネルギー・経済発展の3E (Environment・Energy・Economy) による持続可能な循環型社会に向けて貢献します。また、環境法や環境上の規範を遵守した公正な企業活動を通じて、社会的責任を果たします。

さらに、かけがえのない豊かな自然・美しい地球環境を次世代に伝えていくため、地域社会とのコミュニケーションはもとより、従業員一人ひとりの自他非分離の精神による環境保全活動への取り組みを継続します。

## 行動指針

1. 事業活動が地球にもたらす環境への負荷を把握し、製品のライフサイクルを通してこれらの負荷を低減する。
2. 有害物質の排除、製品使用時の省エネルギーや長寿命化など環境性能の向上による環境配慮製品の開発を拡充する。
3. 地球温暖化防止のため工場や事務所での省エネルギー対策や物流改善の推進などに取り組む。
4. 3R (リデュース、リユース、リサイクル) 活動により環境負荷を低減する。
5. 製品に使用される原材料、部品、梱包材などについてグリーン調達を推進する。
6. 環境法令の遵守、公害防止などのリスクマネジメントの強化を継続する。
7. 地域社会とのコミュニケーションを深め環境保全への取り組みに貢献する。

## 主な取り組み

FDKグループでは、海外を含むすべての生産拠点においてISO14001の環境マネジメントシステム (EMS) を構築しています。また2009年度からFDK国内生産拠点の環境マネジメントシステムを、富士通グループの環境マネジメントシステムへ統合して環境活動を展開しています。

2011年4月からは、2011年3月11日の東日本大震災の影響による電力不足の対応のため、新たに「節電対策委員会」を発足してピーク使用電力を15%削減するべく、すべての国内拠点で取り組んでいます。

### トピックス

#### 太陽光発電設備の設置 ＜FDKトワイセル＞



太陽光発電設備(システム容量120KW)を設置し、2010年12月に点灯式を行いました。年間約13.8万KWhを発電し、CO2換算で43.5トンの削減を予定しています。発電したエネルギーは、出荷するニッケル水素電池の初期充電などに使用しています。

#### キャパシタ搭載電気自動車の 走行テスト＜FDK湖西工場＞



SBS 静岡放送の「走れ! Made in 浜松～電気自動車に挑む町工場～」で、(株)Takayanagi社製の電気自動車にFDKのキャパシタを搭載した走行テストが放映されました。1分間の充電で3.5km、最高時速80kmを記録しました。

#### 地球環境汚染防止管理レベル 「銅賞」＜FDKランカ＞



スリランカの中央環境機構・工業技術センター・BOI(投資庁)・モルトワ大学・清掃公社及びGeo Cycle社により、地球環境汚染防止管理レベルに関する審査が行われ「銅賞」を受賞しました。